



未来の里山について考える「里山工学ゼミナール2025」(全8回)

12/17は「生物季節の把握」をテーマに開催

12月17日（水）17時より、「里山工学ゼミナール2025」(全8回) の第7回目を開催します。

本ゼミナールでは、国土情報処理工学研究室の高木 方隆教授を座長に、毎回異なるテーマのもと、独自の目線で里山と向き合う建築家や写真家、書道家、林業家らが、話題を提供します。

7回目となる今回のテーマは「生物季節の把握」。膨大な数の生物種が生息する里山では、植物の開花や鳥類の渡り、昆虫の初鳴きなど四季折々の現象が観察できます。こうした季節に伴う生き物たちの活動変化は「生物季節」と呼ばれ、気候変動や環境変化の影響を評価する指標とされています。今回のゼミナールでは、画像計測の専門家と鳥類、昆虫の専門家がそれぞれの「生物季節」について発表し、里山の生物多様性をどのように守っていくか、考えるきっかけとしたいと思います。

① 村井 亮介さん [高知大学 特任研究員]

「里山の四季と牛たちのくらしを測る」

里山の植生や牛の行動の変化を見るため、写真や映像を用いた計測手法を研究しています。身近な森林のようすや、食を支える牛の繁殖行動の変化を、データからどのように読み解けるのかをお話しします。



② 谷岡 仁さん [野鳥研究家]

「野鳥と生物ごよみ」

「生物ごよみ」は季節による動植物の動きをまとめたものです。渡り鳥の渡来など、香美市で観察できる野鳥の生物ごよみや近年の変化を紹介します。こうした観察は、環境変化や気候変動を評価する指標としても期待されています。



③ 辻 雄介さん [昆虫研究家]

「佐岡地区のビオトープで確認された昆虫類」

今年の春から秋にかけて、高知工科大学佐岡研究フィールド（香美市）内に造成されたビオトープ等で、昆虫類の生息状況を調べました。得られた結果について、季節変化に注目しながらご紹介させてもらいます。



「里山工学ゼミナール2025」(第7回「生物季節の把握」)

- 日 時：2025年12月17日（水）17:00～18:30
- 会 場：kuzume Base.（香美市土佐山田町楠目972-1）
- 申 込：不要（会場へ直接お越しください）
- 参 加 費：無料
- 駐 車 場：香美市市民グラウンド駐車場
※南側の一列にお駐めください【会場まで徒歩3分程度】
- 主 催：高知工科大学 国土情報処理工学研究室



取材をご希望の場合は、

12月16日（火）の17:00までに 広報課までご連絡ください

[本リリースに関するお問い合わせ]
高知工科大学 広報課 渡瀬・前田
TEL.0887-53-1080
E-mail : kouhou@ml.kochi-tech.ac.jp